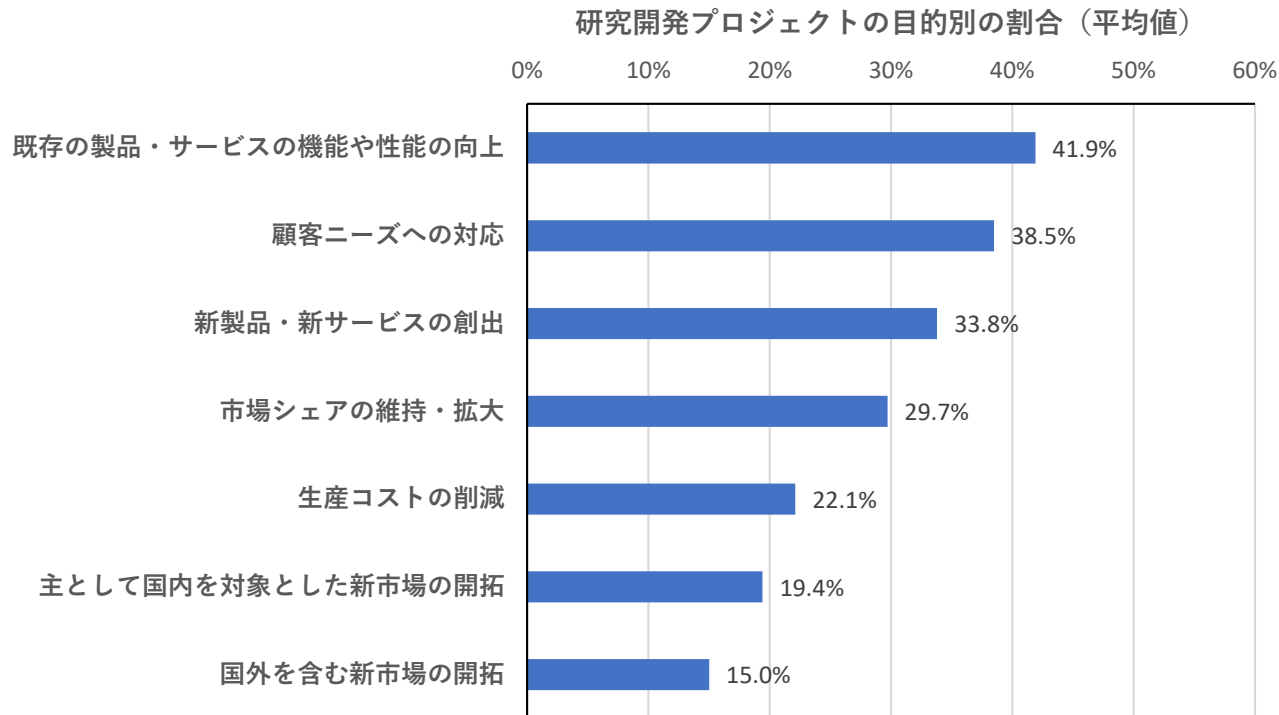


日本の民間企業の研究開発プロジェクトの目的別の割合

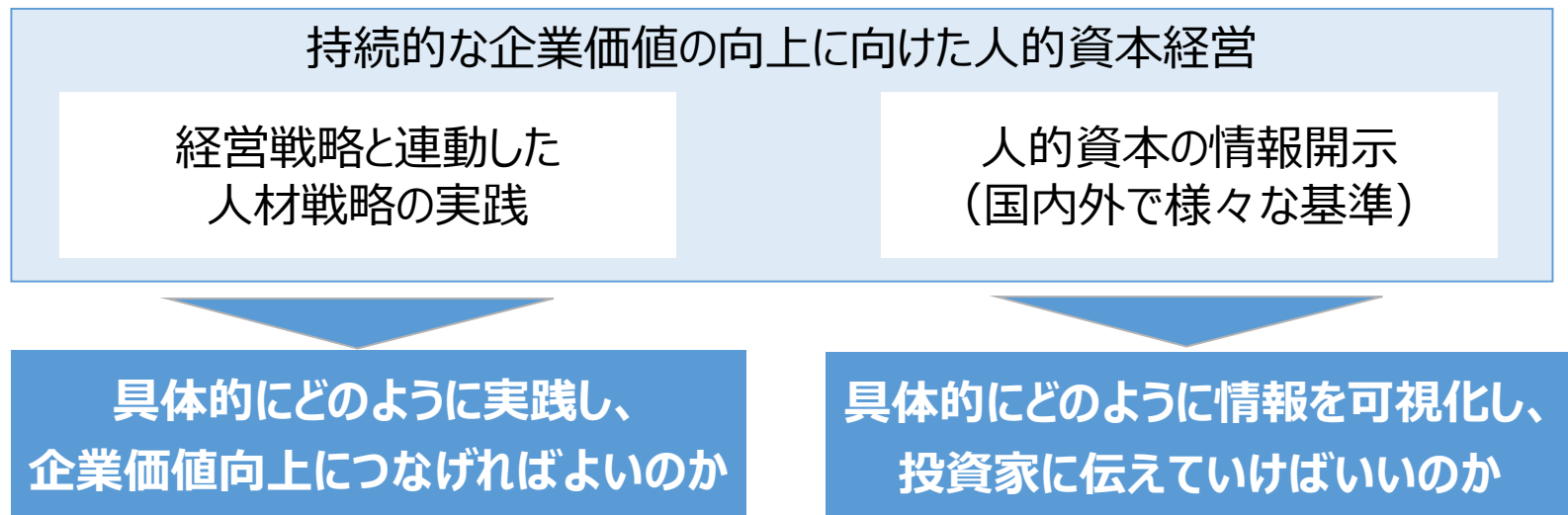
日本企業の研究開発プロジェクトでは、**既存の製品サービスの機能や性能の向上**を目的したものが相対的に**多く**、**新市場の開拓**を目指したものが相対的に**少ない**傾向にある。



各企業の主要業種において2019年度に実施した研究プロジェクトの目的別の割合について、5つの階級を設定し、最も当てはまる階級を尋ねた。図では、回答の全体的な傾向を見るために、各階級の中位値をとって計算した平均値を示した。

人的資本経営の推進

- 人材を「資本」として捉え、その価値を最大限に引き出すことで、中長期的な企業価値向上につなげる「**人的資本経営**」が必要。
- これは、「**経営戦略と連動した人材戦略をどう実践するか**」と「**情報をどう可視化し、投資家に伝えていくか**」の両輪。



経産省 人材版伊藤レポート2.0

【一部概要】 「博士人材等の専門人材の積極的な採用」を進める上で有効な工夫

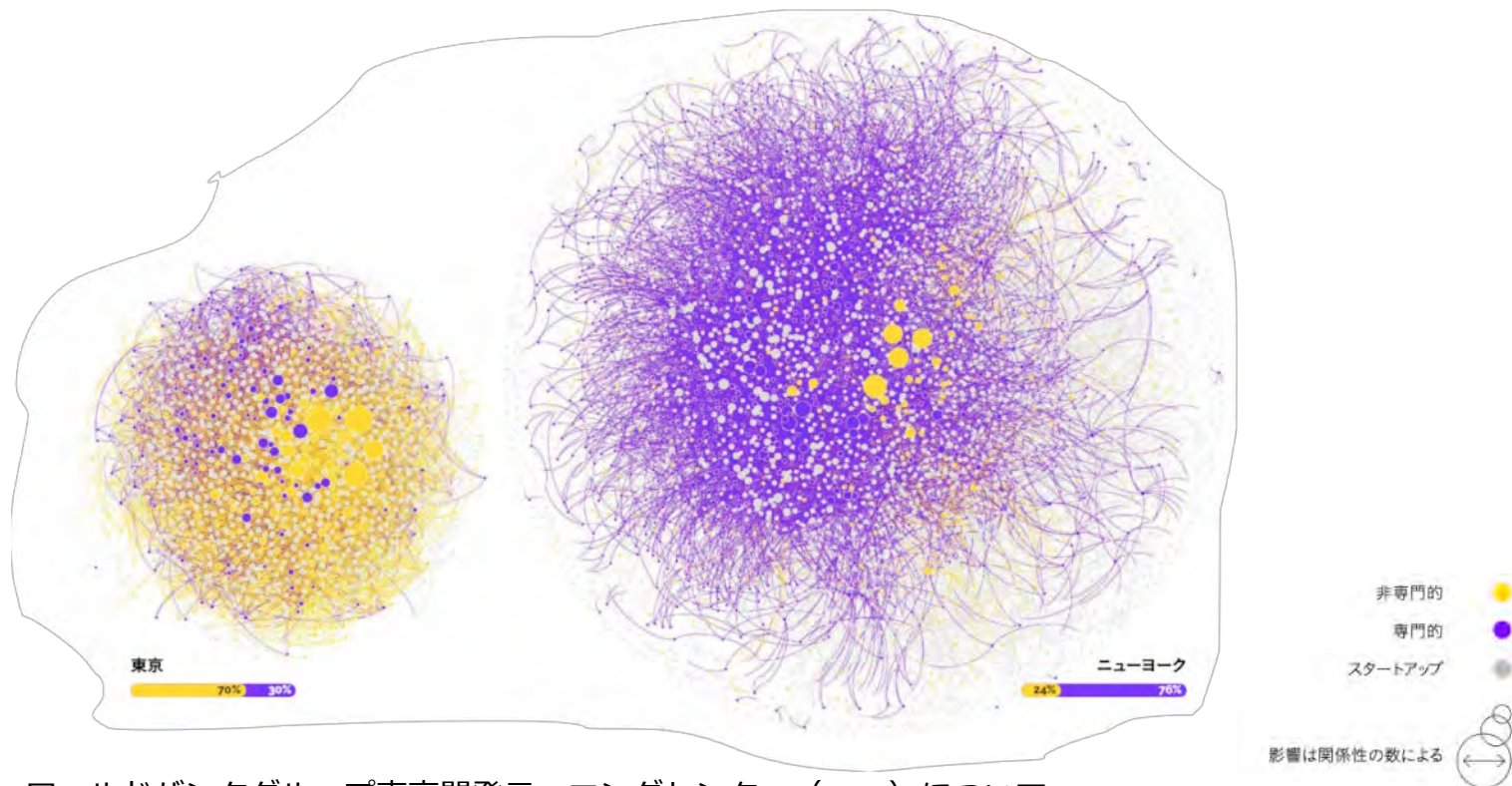
- 工夫1：研究開発部門にとらわれない博士人材の登用
- 工夫2：研究内容・自社事業に基づく、入念なミッションのすり合わせ
- 工夫3：高度な専門性を踏まえた魅力的な報酬テーブルの設定
- 工夫4：産学連携による博士人材の活用

博士人材の活躍事例：スタートアップ起業家

氏名	出身	キャリア	起業内容
岡島 礼奈氏	東大大学院 天文学専攻 博士（天文学）	外資系証券銀行⇒ 新興国コンサルティ ング⇒起業	宇宙ベンチャー「ALE」で 人工流れ星の研究開発
関水 康伸氏	東大大学院 生物科学専攻 博士（理学）	経営コンサル⇒起業	体内の「知覚拡張セン サ」による健康状態セ ンシングを技術で 「PROVIGATE」を設立
寺田 真介氏	東大大学院 情報学専攻 博士（情報学）	大手電機メーカー、 東大客員研究員⇒ 起業	建物内の空間情報の検索 を可能にするサービス 「Pathee」を提供
高橋 祥子氏	東大大学院 生命科学専攻 博士（分子生物学）	博士課程在学中に起 業	遺伝子解析サービス 「ジーンクエスト」を起 業

スタートアップエコシステムにおけるネットワーク

- 下図は東京とニューヨークにおけるスタートアップと投資アクター(VCや金融機関)の繋がりを示す。
- 東京は国内大手銀行や金融機関などの非専門的機関の割合が高く、従来型産業への投資と同じような割合となっている。

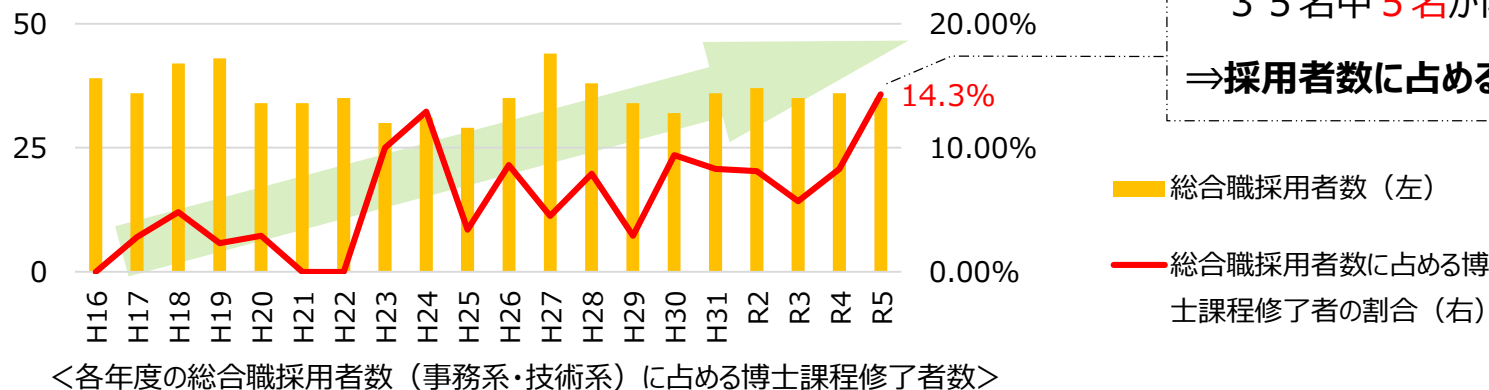


出典：ワールドバンクグループ東京開発ラーニングセンター（TDLC）について
「東京のスタートアップエコシステム」

博士課程修了者の採用について

文部科学省職員（総合職）における採用状況

博士課程修了者を積極的に採用。



博士課程修了者の活用促進について

政府では、『博士課程学生の処遇向上と活躍のキャリアパス拡大』を政府文書に規定。
国家公務員における博士人材の活用促進に向けた取組を実施。

キャリアパス(文部科学省独自)

- ⇒ 職員の適性や希望に配慮しつつ、博士の持つ能力を最大限に活かした柔軟な人事に向けて環境を整備
- 博士ならではの能力・専門性を活かした人事配置、キャリアパス構築
 - 人事評価を踏まえた昇任・昇格に係る期間の短縮
 - 博士号取得者の見える化（名刺等への博士号の明記） 等

初任給見直し（各府省共通）

- ⇒ 初任給を引上げ、大卒or修士課程修了の入省者と差別化
- 現行よりも+3号俸～4号俸（4,000～4,400円） 等

人事

給与

関係府省による取組

＜産業界における博士人材の活用促進＞

- 人的資本経営の推進【経産省】
- 研究開発税制の延長及び拡充（高度研究人材の活用等）【経産省、文科省等】
- 若手研究者によるスタートアップ課題解決支援事業【経産省】

＜博士課程学生の支援＞

- 特別研究員事業【文科省】
- 次世代研究者挑戦的研究プログラム【文科省】
- 大学フェローシップ創設事業【文科省】
- ジョブ型研究インターンシップ【文科省】
- 創発的研究支援事業（博士課程学生等へのRA支援充実）など【文科省】

＜エビデンスの充実＞

- 産業界における博士人材の処遇向上に関する調査【経産省】
- 民間企業の研究活動に関する調査、全国イノベーション、博士人材追跡調査、修士課程在籍者を起点とした追跡調査【文科省（NISTEP）】

＜博士号取得者の公務員としての活躍促進＞

- 博士修了者の公務員採用・活躍促進等【文科省、各府省】
- 博士号の見える化（名刺、座席表等）【文科省、経産省等】

本日で議論いただきたい論点

【現状と課題】

- 日本の博士取得者のキャリアの多様化は、**産業構造**（スタートアップの育成、新市場開拓への取組など）や、**雇用慣行**（ジョブ型雇用への転換など）、**経営戦略**（人的資本の経営など）の变革とも密接に関連する。
- 大学院における人材育成においても、専門能力だけでなく産業界との連携による**プログラム開発**や**能力の仮視化**が求められている。
- 産業界のニーズとアカデミアにおける人材育成のシーズとの間の**マッチングが課題**であり、関係府省において**産業界における博士課程学生の活用促進**、**博士学生の支援等**の取組が進んでいる。

【本日で議論いただきたい論点】

- 博士人材の活躍に向けて、産学官の各セクターにおける意識の違いを埋めるにはどのようにすべきか、各セクターにどのように**行動変容を促していくか**。
- 関係府省の取組を踏まえ、**今後の施策の実施**、**将来的な政策の展開**に向け、考慮すべき点は何か。
- 統合イノベーション戦略、次期基本計画等の**国レベル戦略**の検討に向けた政策課題は何か。

人への投資強化による国際頭脳循環および有志国を中心とした連携強化に向けた提言【概要】

令和4年12月 科学技術・イノベーション戦略調査会

- 我が国の周辺環境は、気候変動、経済社会状況、地政学の観点から見ても戦後経験したことのないほどの厳しい状況。
- 今後、わが国が国際社会で存在感を高め、国益を確保していくためには、**有志国間での協力が不可欠**。
とりわけ、将来の経済・安全保障に資するわが国として強化していくべき分野を中心に、**高度人材育成、その成果である先端技術、経済成長**を連携して生み出し、**国際社会でのイニシアティブ**を引き続き確保していくことが必須。
- 一方で、我が国の状況は、高度人材である**博士人材育成・活用**の面で諸外国と比して大きな後れ。
高度人材が将来のわが国の産業の基を創出し、富を生み出す鍵であり、その育成・活用に積極的に取り組むことが必要。
高度人材育成のエコシステム構築、国際頭脳循環に向け、「育てる」、「活躍する」、「送り出す」、「呼び込む」の4つ視点から施策を抜本強化し（具体的な方向性は以下のとおり。）、**G7サミット等で国際社会に強く打ち出すべき**。

